

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表：2022年 5月 29日

事業所名 チャイルドCOCO羽島

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	●				
	2	職員の配置数は適切である	●			基本的に基準より多く配置している。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている			●		・今のところ車椅子等が必要な利用者がいないため設備は完璧ではないが、必要があれば随時対応していく。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	●			全員参加のミーティングで問題を出し合い業務改善に生かしている。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	●			保護者向け評価と連絡帳等を通して保護者の意向を把握し業務改善に努めている	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	●			事業所HPでの公開 事業所に掲示している	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	●			相談支援専門員からの意見を参考に業務改善を図っている	
適切な支援の提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	●			研修会で学んできた資料を基に定期的なミーティングで内容について学んだり、資料ファイルを観覧したりしている。	
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	●			アセスメントで聞き取った保護者、利用者の要望をふまえ、支援会議でのスタッフの意見を取り入れて個別支援計画を作っている。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	●			・定期的にツールの内容が適切か検討している。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	●			定期的なミーティングを行い活動の内容を検討している。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	●			子供の興味関心を考慮して活動内容に変化があるようにしている。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	●			休日や長期休暇には、療育に役立ち楽しめるイベントを計画している。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	●			子供の実態に合わせて個別活動と集団活動の軽重をつけ計画を作成している。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	●			前日の支援記録等を確認し、スタッフ間で支援内容や役割分担を確認・共有している。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	●				
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	●				
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	●			保護者と児童の双方とモニタリングを行い事業所での実態と併せて支援計画の見直しを行っている。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	●				

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	●			・事前にミーティングを行い、子供の状況を改めて確認し、児童発達支援管理責任者が参加するようにしている。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	●			送迎時や電話連絡等を通して随時行っている。 年間計画行事予定は保護者を通して入手している。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	●				・現在は医療的ケアが必要な利用者がいないが、必要に応じて対応していきたい。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	●			・事業所を利用されることになった場合は、就学前に利用していた児童発達支援事業所等に連絡し、情報共有に努めている。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	●				・新規事業所のため、今のところ移行した利用者がいない。今後、必要に応じて対応していく。 ・まだ事例がない。 ・支援内容等の情報を提供する用意はできているが、現在は該当する利用者がいない。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	●			担当者会議での情報交流や専門機関からいただいた情報を支援に生かしている。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	●				・現在交流はないが、今後検討していく。 ・今後、児童館などの利用を増やし、交流する機会を作っていくたい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	●			・必要に応じて、協議会等へ責任者を派遣している。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	●			・主に連絡帳、SNS等を通して、日々の活動状況を保護者に伝え、状況や課題を共有するよう努めている。 ・新しい発見や、出来たことを連絡帳、又は写真等を撮りLINEで送っている。 ・連絡帳、LINE、ホームページのブログなどを渡し、日頃の活動などを伝えている。	
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	●			・主として連絡帳、LINE等を通して保護者に支援している。 ・発達障がいの子供を伸ばすための図書を薦めることもある。		
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	●			・事業所利用前に、必ず説明の時間を設け、理解して頂けるようにしている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	●			・個別の懸念等を必要に応じて実施し、必要な助言や支援を行っている。 ・子育て経験のあるスタッフが中心となり、助言等をしている。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	●				・現在、検討している ・今後、保護者会等を開催できるように検討している。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	●				・今のところ事例はない。 ・苦情について、文書だけでなく、その他の手段によるものでも対応できるようにしている。 ・今のところ事例はないが、対応できるようにしている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	●			・おたより、SNS等を通して行っている。 ・毎月おたよりを発行し、子供や保護者に伝えられている。 ・ホームページで活動内容やイベント等の情報を公開している。 ・毎月チャイルドCOCO通信(おたより)を発行し、活動概要や行事予定等をお知らせしている。	
	35	個人情報に十分注意している	●				
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	●			・本人の意思を確認するために選択肢を用意したり、“見える化”したりする等の配慮をしている。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	●				・現在は実施していないが、今後検討している。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	●			・緊急時対応マニュアル等を策定し、ミーティングや保護者向け通信を通して周知を図っている。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	●			・定期的に避難訓練を行っている。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	●			・虐待防止研修の内容をミーティングで提示し、共通理解を図っている。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	●				
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	●			・保護者に食物アレルギーについて確認し、食事・おやつ等に配慮している。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	●			・ミーティング等で事例を検討し、共有している。	